



一般会計・特別会計の決算報告

平成 22 年度の決算が市議会で認定されましたので「一般会計」「特別会計」の順に報告します。

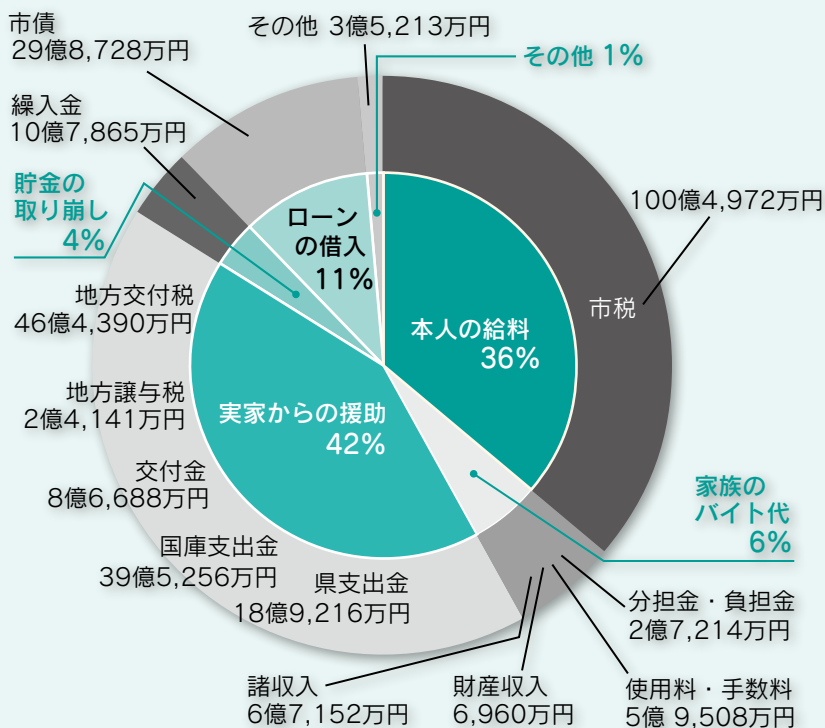
問 財政課 (☎ 82-1131)

一般会計歳入の主な増減

- 市税**
 景気低迷による落ち込みにより 1 億 4,956 万円の減額
- 国庫支出金**
 子ども手当事業・地域活性化事業などにより 1 億 5,671 万円の増額
- 市債**
 公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債の発行の減などにより 3 億 8,042 万円の減額

一般会計の決算

歳入：276 億 7,303 万円



財政
まめ知識

経常収支比率 **93.2%**
*平成 21 年度 97.3%

経常収支比率とは、市税等の一般財源（自由に使える財源）に占める義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合のことをいいます。これは、財政のゆとり度を示す重要な指標で、割合が低いほど財政のゆとりがあることとなります。

合併特例債

合併を行った市町村がまちづくりの推進のため市町村建設計画に基づいて行う事業や基金を造成するために、その財源として借り入れることのできる地方債（ローンの借入）のことをいいます。市民が一体となったまちづくりに向けて、まちづくり市民会議の意見や財政計画、将来の公債費の動向を注視しながら事業を厳選していきたいと考えています。

■これまで行った主な事業

厚狭駅南部地区区画整理事業、学校施設耐震化事業など

[外円グラフ] 平成 22 年度一般会計歳入

[内円グラフ] 一般会計を家計の収入に例えた場合

特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
訪問看護ステーション事業	2,425 万円	1,920 万円
駐車場事業	3,797 万円	3,127 万円
国民健康保険	72 億 7,569 万円	71 億 7,833 万円
介護保険	47 億 8,002 万円	47 億 2,149 万円
後期高齢者医療	8 億 4,046 万円	8 億 3,935 万円
老人医療	9,645 万円	9,645 万円
地方卸売市場事業	1,036 万円	1,025 万円
下水道事業	29 億 854 万円	28 億 9,952 万円
農業集落排水事業	8,997 万円	8,989 万円
小型自動車競走事業	106 億 644 万円	112 億 8,385 万円